



花新聞

花を愛し、花の輪を広げよう。

第1号

北九州市建設局
公園緑地部緑政課花係
〒803 小倉北区城内1-1
☎093(582)2466

花つて素晴らしい!!花と希望に満ちた明日をみんなの手でつくっていきましょう。

花新聞創刊にあたって



北九州市市長

末吉 興一

心豊かで住みよい街づくりのため、積極的に都市の緑化を推進してきた北九州市は、全国でも有数の緑豊かな都市になりました。この緑を生かして、さらに美しく潤いのある街づくりを進めるためには、花はなくてはならない存在になってきています。

花は、人が手をかけてやればやるほど、それに応えてみごとな花を咲かせ、生活環境の向上はもちろん、季節の移り変わりを感ぜさせるとともに、美しくやさしい心も育てます。

市民の皆さん一人ひとりが、心の花・家庭の花・地域の花・そして北九州市の花、それぞれにすばらしい花を咲かせようではありませんか。そして、誇りと親しみをもてる美しい街づくり、人づくりを実現させましょう。



レポーター

ちさき 雪江

「サタデー北九州」/「探検!九州」/「夕方放送局きょうもやっばり基調」などに出演中。

レポーターという仕事から、外を駆け回る機会が多いのですが、最近特に、北九州市の街に花や緑が多くなった様に感じます。市街地のわずかなスペースにも季節の花が鮮やかに咲いている。夏の強い日差しを美しく茂る緑が和らげている。そうした、光景に出会うたびに、近代製鉄発祥の地で七色の煙の街とうたわれた北九州市が、今や、自然と共存する街に変化したと思うのです。

家庭や職場に一輪の花があるだけで、雰囲気明るくなります。花や緑は、人の気持ちを優しくしますし、また、それが育む環境は、その街に住む人達の心のゆとりを表すのではないのでしょうか。これからも私は、自然を慈しむ素敵な北九州市の街を応援していきます。

暮らして潤い、心に栄養 花の魅力再発見



目を楽しませる、心を和ませる、気持ちを伝える。花には素晴らしい効用がたくさんあります。そんな花のメリットを一挙に公開。花の魅力を再発見してください。

心の栄養

精神的なストレスがクローズアップされている現代社会。花は見る人の気持ちを落ち着かせ、心を和ませる効用があります。

また、アロマセラピーに代表するように、花の香りには心身をリラックスさせる作用があり、生理学的にも実証されています。

季節感

俳句には多くの花が季語として用いられるように、日本人は昔から花を季節の象徴としていました。春のお花見、お月見のスキなども日本人の感性が育んだ花の愛し方。季節感が乏しいと嘆かれる今日、咲く花は季節の訪れを静かに語りかけているのです。

景観向上

一輪の花が部屋にあるだけで、その場の美観がアップします。街だって同じこと。道路に面した花壇など、わずかなスペースでも花があれば景観がぐっと美しくなります。

またドラマチックな花壇に出会った時、心に小さな感動を与えます。

おもてなし

家庭でお客様を迎える時はもちろん、国際会議などの公的な場にも花はもてなしの意思表示として利用されています。

さらに、結婚式のブーケに見られるように、花は全世界でもてなしと祝福を表しています。



文化

室町中末期に確立した立花(りっか)をルーツとした「生け花」をはじめ、日本には花を素材とした芸術が古くからあり、親しまれてきました。また、最近ではフラワーアレンジメントのように、新しい芸術も生まれています。

このように人々は花を中心に、数々の文化を咲かせてきたのです。

伝心

花を贈ることは、真心を伝えること。これは全世界で共通です。花言葉に代表されるように、花自体にも様々な意味があります。

コミュニケーション

花づくりを通じて広がる人の輪、花をきっかけに近隣のおつき合いが深まったり、花づくりに参加することであらたな人とのつながりができたり、家庭でも花が話題になったり。もちろん「花新聞」も花を通じて、人の交流を深めるものは人の心と心をつなげます。

自然とのふれあい

花が持つ固有の形、色彩、香りには、自然の不思議が満ちています。また、昆虫や鳥たちによって交配や種子の移動が行なわれるように、花は他の生物とバランスよく共存。草花の光合成は空気の浄化に貢献するなど、花から自然のドラマを見ることが出来ます。

情操教育

幼い時から小さな生命に接することは、情緒の育成に重要です。花の種を蒔き、発芽から開花までを世話することで子供は命の尊さを知り、やさしさを学びます。

学校や幼稚園、あるいは家庭で、花は情操教育の格好の素材となります。

花新聞創刊記念特集

もっと知りたい HIMAWARI



昭和57年12月、「つつし」と共に市の花として制定された「ヒマワリ」。太陽を見つめ、活力を感じさせる姿は、未来へ躍進する北九州市を象徴するものです。そこで、花新聞では創刊号にふさわしくヒマワリを特集します。

太陽に恋した花。
ヒマワリの原産地は中央ア

なつたと紹介されています。日本への渡来は寛文年間(1666年)といわれており、江戸前期の儒学者・貝原益軒の「大和本草」には西蕃葵の名で登場しています。天才の孤独。

名画ヒマワリで知られる天才画家ゴッホ。彼は、同じ画家仲間であつた友人であったゴッホを南仏・アルルに招き入れた際に、「迎え花」としてヒマワリを描きました。そして、訪れたゴッホは、その絵を見るなり「これこそ

アメリカ、コロンブスのアメリカ大陸発見後、1956年頃にヨーロッパにもたらされました。しかし、この花はそれより以前に南米(ペルー)に伝わっており、古代インカ帝国では太陽神のシンボルとして崇められていました。また、ギリシャ神話では、海の精・クリティイ、太陽神・アポロンを見つめ続けてヒマワリに

花というものだ!と、絶賛したといわれています。しかし、2人の共同生活は2カ月で破綻。ゴッホには深い孤独と名画だけが残されたのです。しっかりと者の八方美人? ヒマワリは観賞用だけでなく、暮らしに役立つ有用植物です。特に、種子からはオリブオイルに劣らない良質の油が抽出できます。さらに、その油かすはロウソクや石鹸の材料に、花は黄色染料に、葉は飼料にと、まさに八面六臂の大活躍。このため各国で



グリーンパーク・ヒマワリ畑

盛んに栽培され、特にスペイン(コルドバ)、南仏(サン・レミ)、イタリア(アレツツオ)のヒマワリ畑は世界的に有名です。いかがでしたか、ちよつとカルチャーなヒマワリの世界。北九州市内では、小倉南区朽網の国道10号線沿いにある約4,000㎡のヒマワリ畑。さらに、約4万本ものヒマワリが集うグリーンパークが名所です。夏には見事な大輪を楽しむことができます。

顕賞 制度

第2回 ヒマワリビッグ コンテスト

ヒマワリを対象にしたコンテストで、背丈ビッグクリ部門、写真部門、絵画部門があります。びっくりするほどノッポに育ったヒマワリをはじめ、素敵な作品をお待ちしています。詳しくは、北九州市建設局公園緑地部緑政課

北九州市ではいま、多彩な 花事業を進めています

花の名所 づくり

北九州市各区の代表的な公園に、その場所にあつた花木をたくさん植えて、美しい花の名所をつくる計画です。これからも、市民の皆さんがもつと花に親しんでいただけるよう、整備を進めていきます。

- 和布刈公園/秋14,800本
- 昭和池公園/桜1,000本
- 高塔山公園/紫陽花21,000本
- 高炉台公園/ツツジ30,000本
- 夜宮公園/花菖蒲6,000株

花と緑の 車窓景観整備

鉄道や道路の沿線にある空地、建物の壁や屋上・ベランダなどに、土地所有者のご協力により花や緑を植えて、車窓からの景色に彩りを添えます。また、自然や街並のきれいな眺めを活かし、潤いのある美しい街づくりを推進していきます。



フラワーバンク

北九州市が市民の皆さんからお預かりする花の種子を、希望する方に持ち帰っていただき、花が咲いて種子ができたら、その一部を再び戻していただくという制度です。庭や学校で種がとれたらフラワーバンクにご協力ください。

花の情報 発信システム

街やご家庭にあるキャプテンスシステムでご利用いただける「北九州情報ひろば(KID)」に、花の名所や花の開花状況をお知らせする情報システムが加わりました。見ごろの花や開花場所、咲き具合など、花に関する情報をリアルタイムで提供しますので、お気軽にご利用ください。



八幡西区・夕原町



広げよう花づくり、 育てよう夢咲く街

花咲く 街かどづくり

市民の皆さんのボランティア活動や民間企業のご協力により、街を四季の花でいっぱいにしようというものです。この事業では、パートナー花壇、市民花壇、公共花壇の3つの制度を設けています。

パートナー花壇

小倉の繁華街、みかげ通りの起点となる小倉東映会館前にあるパートナー花壇。場所が待ち合わせなどの目印に利用され、多くの皆さんに親しまれています。

この花壇は小倉東映会館の職員の方が管理するもので、春はパンジー、夏はヒマワリ、秋はポーチュラカ、冬は葉ボタンなどが満開。ビルに囲まれた都心に潤いを与えています。

●パートナー花壇とは

北九州市が提供する公共の場所、個人・団体・企業等の皆様のボランティアにより、花苗等の購入から植付・管理までをしていただくものです。



パートナー花壇 (小倉北区・東映会館前)

市民花壇

「美しい花で町おこしを」のスローガンのもと、八幡西区別松の市民を中心につくられた「コスモス会」。周辺を流れる金山川・遊歩道に大規模(0.5ha)な花壇を開設し、春はチューリップ、秋はコスモスを植えています。この花壇の規模は北九州でも屈指の大きさ。花の見ごろには、北九州市外からも見物人が訪れるといます。

また、「コスモス会」は、自らが開くバザーの収益金で、花の苗や種子を購入。花の開花時には手作りの新聞の発行



市民花壇 (八幡西区・金山川)

一本の花に惜しめない愛情を注ぐ人たちがいる。花を通じて美しい街づくりに情熱を燃やす人たちがいる。ここでは、そんな素敵な人たちや団体をジャンルを超えて紹介します。

公共花壇

これは北九州市の事業として、市が管理する花壇です。市民の皆さんの潤いの場となるように、四季折々の花を植えています。

「市民花壇とは」
「花咲く街かど推進協議会」の会員の皆様が管理する花壇です。花好きの市民ならどなたでも参加いただけ、会員がつくる花壇には特製のプレートが設置されます。



公共花壇 (八幡東区・桃園)



八幡西区・掃橋

公共施設の 花づくり運動

北九州市下水道局では、昨年からは楠橋ポンプ場(八幡西区)の施設内に、コスモス畑をつくっています。職員のボランティアと、地元の保育園の園児などが種まきをしたコスモス畑は、脇を走る新幹線からも眺めることができ、車窓の景観アップにも貢献。秋の開花時には一般に開放する予定。ピクニックがてらに訪ねてみるのもいいですね。



道徳教育の一環として花づくり

小学校の花いっぱい運動

人一鉢運動を進めています。これは、全学童御名の各自が一鉢の花を育てるというものです。昨年は1年生があさがお、2・3年生がミニトマト、4・6年生が小菊を栽培。子供たちの愛情を注がれた花は、猛暑の夏を乗り越え立派に育つたのでした。花づくりを通じて豊かな心を育てるといふ試みは、着実に実を結んでいるようです。

すてきな
ちゅうお
お拝見



第11回緑の街かど賞に選ばれた太田さんは、息子さん夫婦のお宅と庭続きになっており、この庭で四季折々の花を育てています。道路側に配したプランターは傾斜を持たせ、通行する人から見やすくするなど、アイデアも様々。外国生活の経験を活かし、素敵なフラワライフをエンジョイされています。

●八幡西区 太田邸

フラワーウォッチング

お気に入りの花をフォーカスしよう



花壇で鮮やかに咲き誇る花。野山で見つけた可憐な一輪。そんな素敵な花を写真に残してみませんか。花を無断で持ち帰ることはできませんが、写真ならOK。このコラムでは花の名所を紹介しながら写真の撮り方をアドバイスしますので、休日には美しい花をフォーカスしてみたいかがでしょうか。

夏休み中、ハイキングやキャンプなどで野山の花をフォーカスする場合には、35mmコンパクトカメラが便利。マクロ(接写)機構が付いているカメラなら、主役の花を一輪



いいでしょう。また、群生する花の場合には、ハイアングルで撮影すると広がり感のある写真が撮れます。つぎに遠出をしなくても花をフォーカスできるスポットを案内します。7~8月にかけては、小倉城のお堀りの「水蓮」が見ごろ。被写体が遠くにあるため、望遠レンズで狙うのが理想。花や葉が風で揺れることもありますので、早いシャッタースピードを使ってください。夏から秋(10月上旬まで)にかけて咲く「萩」は、和布刈公園が名所。

に絞って大胆に近づいて撮りましょう。花と視線を同じ高さで撮る「アイレベル撮影」、花を下から見上げるように撮る「ローアングル撮影」など、さまざまな構図をおさえると



ちょっと花の豆知識

コンテナガーデンやハンギング・バスケットのおしゃれな演出

- ① 同色または似たような色の花を植える。
- ② コントラストを強調したカラフルな鉢にした時は同一種類の花を植えてみましょう。

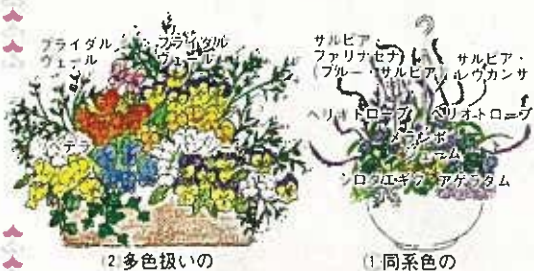
いずれの場合も白いスイートアリッサムやブライドルヴェールなど、こもりと鉢をカバーするように咲いて、花期も長いもの、銀葉の美しいシロタエギクやヘリクリサム、常緑性のヘデラ類などを寄せ植えすると落ち着いた印象になります。

モスが咲きますので、最適なアングルとポジションを探してじっくり撮影できます。この他、秋は足立公園の紅葉、平尾台のスキと夏から秋にかけてはフォトジェニック揃いです。

ご家族のアルバムに、1枚の花の写真を添えて、美しい思い出を残してはいかがでしょう。なお、ご自慢の花写真が撮れた方は、事務局までご送付ください。紙面にて一部ご紹介させていただきます。

また容器の色や素材、特に自然の風合いをもつたテラコッタなどで統一するとさらにシックなまとまりのある寄せ植えができます。

西日本短期大学・非常勤講師/グリーンアドバイザー 音成 陽子



おでかけ INFORMATION

- イベント
- ハイブ作品展
- 9月22日(金) 9月24日(日) / グリーンパーク / 市営バス「グリーンパーク北ゲート入口」お問い合わせ：グリーンパーク
- 093(741)5545
- コスモスマツリ
- 10月1日(日) / 若松コスモス街道 / 市営バス「赤崎」下車徒歩30分 / お問い合わせ：若松区役所まちづくり推進課
- 093(761)5321
- 都市緑化祭
- 10月15日(日) / グリーンパーク / 手作り花壇コンクール・花と緑のワクワクイズ・パネル展等 / お問い合わせ：北九州市建設局公園緑地部公園管理課
- 093(582)2464

事務局だより

この度、北九州市の花の名所を、花の種類別で紹介したガイドブック「花の散歩道」(全30ページ)を発行しました。美しいカラー写真、便利なマップも収録しています。1部200円で、グリーンパーク(緑化センター)、山田緑地(森の家)および北九州市役所1階(政府刊行物北九州サービスステーション)で好評発売中です。



お便り お待ちしております。

この新聞は花を愛し、街を花でいっぱいになりたいと考える方たちの情報誌です。そこで、花活動を行なっている方の紹介、花の名所、花を使ったアイデアや写真など、花に関する様々な情報を皆さまから募集します。お便りをお待ちしています。

宛先

〒803 小倉北区内1-1
北九州市建設局公園緑地部
緑政課花係

花新聞事務局

093(582)2466
FAX 093(582)2244

- 萩 / 10月下旬まで
- 和布刈公園 / 西鉄バス「和布刈公園」下車 / 15,000本近くのミヤギノハギやヤマハギが至る所に華麗に咲き誇る
- 平尾台 / 西鉄バス「平尾分校」下車